

ビジネスアイデアの概要

スリープテック企業の課題

- ・簡便かつ客観的に製品の効果を可視化したい
- ・睡眠研究で定評のある指標で評価したい

プロダクト

スリープテック企業を対象に、睡眠学で多くの知見が蓄積された覚醒度指標 (PVT) を目元の情報から簡便に推定できるサービス

従来の覚醒度評価方法



Psychomotor Vigilance Test (PVT)

ビジネスアイデアを事業化するための課題

技術・製品開発

- ・軽度の覚醒度低下をスマホカメラを用いて推定できるかの検証
- ・軽度の覚醒度低下の推定技術を実装したプロトタイプの実装

事業開発

- ・ファーストカスタマーに向けたデモアプリ開発
- ・カスタマーの拡大に向けた顧客探索

事業化の見通し

ニーズ

睡眠学で定評のある指標を簡便に推定する技術はスリープテック企業のニーズがあることを確認することができた。

プロトタイプ

スマホで重度の覚醒度を推定できるプロトタイプの実装も完了したので、今後は軽度の覚醒度低下の検知技術の開発を続け事業化をめざす。

デモアプリ



事業者情報

チーム代表



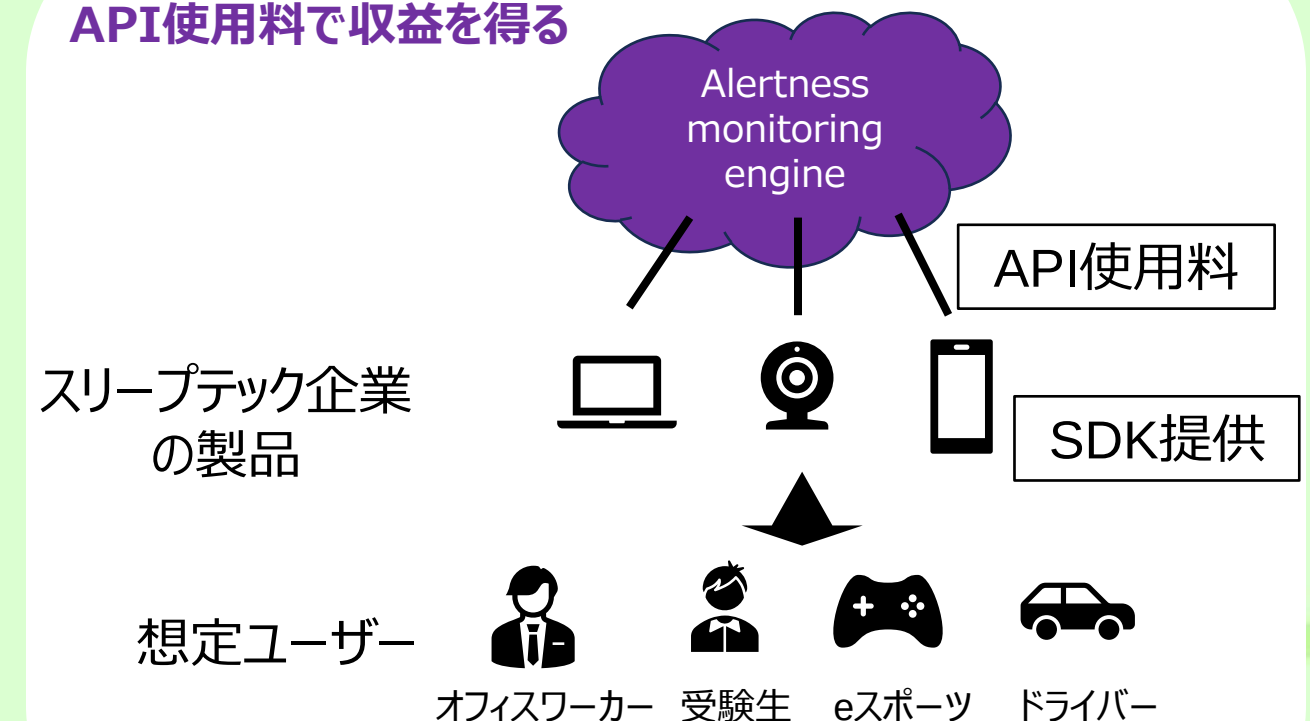
阿部高志（事業統括）（CEO候補）
筑波大学
国際統合睡眠医科学研究機構

メンバー

野口宇宙（研究開発）（CTO候補）
Dzeng Yuhua（研究開発）
大河原一輝（フロントエンド開発）
櫻井成正（バックエンド開発）

ビジネスアイデア概要図等

スリープテック企業向けにSDKを提供し、
API使用料で収益を得る



まずはAPI事業で会社成長の基盤を作り、
ドライバー向け、睡眠医療向けへ事業拡大